

平成29年度
事業報告書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

平成29年度 事業報告書

1 事業総括

(1) 概況

平成29年度事業は、少子化や人口減少などの影響を受け、新生児保健、学校保健、地域保健の特定健診・がん検診などの公的分野において事業量の減少傾向が見られる。

事業別に見てみると、出生数に連動している母子保健の先天性代謝異常検査は、17,095件の実施で、前年度比較95.3%であった。

地域住民を対象とした特定健診は今年度34,486件で、前年度と比較すると96.8%の実施であった。乳がん・子宮がん検診は前年度比96.0%・94.0%の実施、肺がん検診は98.4%の実施であった。

一方、職域健診においては、昨年度開設した大規模健診プラザの影響を受け、民間事業所の定期健康診断が前年度より2,300件減少したものの、今年度は新潟市教育委員会教職員健診2,500件を受託したため、出張健診・施設健診は前年度並みを維持した。

健康支援事業では、2年目となるストレスチェックのストレス検査がやや減少し、97.4%の実施であった。受託先の事業所数は変わらないものの、実際にストレス検査を受ける人数は減少した。

次に、当財団の運営における大きな動きとして挙げられるのは、一般社団法人新潟県健康管理協会と包括業務提携協定を締結したことである。これまで培った協力・信頼関係を踏まえ、職域健診等に関する業務の提携や健診に携わる人材の共同育成活動などを通じ、新潟県民の健康の保持増進に寄与することを目的にしている。

また、今年度は(公社)全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」を受審した。労働衛生関係の健診の質の向上が求められており、機能評価を受ける目的は、法律の内容及び健康保険組合の仕組みなど十分な理解のもとに職域健診を行うためである。(機能評価の結果は、平成30年5月中に判明の予定。)

平成29年度は、少子化と人口減により、事業量は縮小気味であったが、全体としての事業数は832,891件、前年度の実績との比較では99.4パーセントであり、0.6ポイントの減少にとどまった。引き続き、市町村との連携や民間事業所への渉外活動を強化し事業の安定的な展開に努める。

(2) 公益目的事業の内容と成果

当法人は、定款において公益目的を達成するための事業として7つの公益目的事業を掲げている。平成29年度において、それぞれの事業の概況と成果は、次のとおりである。

ア 健康増進、生活習慣病予防及び早期発見のための（地域）健診事業

市町村の住民を対象に実施される、いわゆる「地域（住民）健診」は、県民の健康の保持増進を第一の目標に掲げる当財団の主要事業である。

長岡市、小千谷市、見附市、三条市など中越・県央地域を中心に、特定健診の実施数は今年度34,486件、前年度比96.8%であった。また、住民の各種がん検診について見ると、胸部検診はほぼ昨年並みを維持し、結核・肺がん併せて143,486件実施した。胃がん検診については、今年度16,709件の実施で、前年度比較100.1%を維持している。大腸がん検診は、38,457件の実施で、前年度比101.9%の実施であった。加茂市の冬場に実施する郵送検診が順調である。乳がん検診・子宮がん検診の婦人科検診は、前年度比較で96.0%、94.0%の実施にとどまった。引き続き、市町村との連絡を密に、健診体制の充実に努めていきたい。

イ 働く人の健康管理業務全般にわたる支援活動業務

この事業は、労働安全衛生法に基づき事業所等が従業員に対して実施する定期健康診断や特殊健診、これと同時に実施する各種がん検診などである。

平成28年4月、大規模健診プラザが開設したことで、新潟市を中心とする民間事業所の定期健康診断が2,300件減少した。一方、今年は新潟市教育委員会教職員健診を受託し、夏期を中心に施設のホール健診は14,437件で、前年度対比106.7%の実施であった。人間ドックの受診者は、全国健康保険協会（協会けんぽ）をはじめ各種健康保険組合・公務員共済組合の加入者などが大半で、毎年度ドックを受診するリピーターも多いが、国保のドックや個人のドック受診が大規模健診プラザの影響を受けて減少してきたと思われる。

ウ 母子保健、学校保健分野における検査事業

母子保健における新生児先天性代謝異常検査は、新潟県および新潟市から委託を受け県内で唯一、当財団のみが実施している事業である。平成25年1月よりタンデムマス法によるマス・スクリーニングを開始し対象疾患が19項目に拡大している。出生数の減少により、今年度は17,095件の実施であった。新潟県及び新潟市、新潟大学小児科との連携のもとに成立している事業であり、安定的に継続していくことが重要であると考えている。全国の自治体では、新生児マス・スクリーニング検査の先進的な取組みが行われつつあり、今後は当財団としても、新

潟大学小児科と連携しながら積極的な試みを行いたい。

児童・生徒の心臓検診は、市町村小・中学校及び高校生を対象に 37,677 件実施した。デジタル心電計の普及により、長期にわたる心電図波形のデータ保存が要求されるようになり、当財団においても学校心臓検診体制の見直しと、心電図測定デジタル化に着手した。

また、新潟市や長岡市の教育委員会及び医師会との連携のもとに、小児腎臓病や小児糖尿病の早期発見のための尿検査 (156,098 件) を担っており、今後とも、この分野における指導的機関としての役割を果たしていく。

エ 検査・健診の結果データの分析評価を地域社会に還元する事業

当財団は、県内唯一の公益財団法人認定を受けた健診機関として、地元医師会や市町村等と連携しながら、健診・検査業務の精度の向上を図るとともに、その結果を疾病の早期発見や予防活動に活かし、地域保健活動の充実を目指している。今年度は、健診・検査の結果を統計的に分析した「平成 27 年度版事業年報」を編集発行した。また、県内で胸部疾患に関わる医師を対象にした「読影医師研修会」等を開催し、引き続き県内医師の読影技能の向上を目指している。

オ 予防医学思想の普及、健康増進啓発に向けた健康づくりへの支援事業

この事業は、健康診断後における保健指導や一般市民を対象にした健康教育、糖尿病等の予防啓発を行うことにより、広く県民の健康づくりを支援していくことを目的にしている

成人病検診センターにおいては、特定保健指導の該当者に関わらず、広く人間ドック (約 4,000 人) や施設型健康診断 (約 1,350 人) の受診者に対して、保健師や管理栄養士による健康相談を実施している。

メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数 (グループ) 制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施するとともに、今年度は新潟市中央区からの受託で「糖尿病予防セミナー」の連続講座 15 回をメディアシップと NEXT21 で実施した。また、市民を対象にした第 13 回市民健康講座 (テーマ・がんの早期発見と最先端治療) を県立がんセンターと連携して、平成 30 年 3 月 2 日に日報ホールで開催し、約 200 人の参加があった。がんをテーマにした講座が定着し、年々来場者が増えている。

カ 感染症予防に関する知識の普及啓発並びに予防事業

この事業は、腸内細菌やノロウイルスなどの感染症の蔓延を防止するため、食品取扱関係者や福祉施設・医療関係者などに感染症予防の知識を普及し、必要な検査を行うとともに、インフルエンザについては学校など集団感染が懸念される場所において集団の予防接種事業を行うものである。インフルエンザ予防接種は

9,322 件の実施であった。全体の予防接種事業は 12,000 件で前年度対比 96.7% の実施であった。

腸内細菌検査は、中越メジカルセンターの検査室において一元的に検査を実施することとし、長岡、上越方面の食品取扱関係者を中心に、今年度は 41,589 件で、昨年並みを維持した。

キ 提携して業務を行う法人への協力事業

当財団は、予防医学事業中央会ならびに結核予防会本部という、日本全体で保健活動を展開している二つの全国組織と提携し、それぞれの組織の新潟県支部として県民向けの啓発活動などの協力事業を実施している。特に、結核予防会複十字シール募金活動は、年間で約 300 万円の募金の実績があり、社会啓発活動に努めている。なお、平成 30 年度の第 63 回予防医学事業推進全国大会を当財団が主管して、平成 30 年 10 月 26 日（金）「オークラホテル新潟」において開催することとなり準備をすすめている。

以上のような公益目的事業を通して、県民が生涯にわたり心身ともに快適な生活をおくることができるよう、地域保健、職域保健、母子保健、学校保健、感染症予防、健康づくりなどの各分野における保健衛生活動を継続的・安定的に実施していくことが当財団に課せられた使命であると考えている。

2 個別事業の報告

当財団は、定款において定める公益目的事業の区分とは別に、公益事業への移行設立時において、事業全体を「検査事業」「健（検）診事業」「健康づくり事業」の3つの個別事業に大別している。この3事業の実績と課題は次のとおりである。

第1 検査事業

(1) 母子保健

新潟県・新潟市より委託を受け実施している新生児マス・スクリーニングは、行政・新潟大学・県医師会の指導のもと、県内唯一の検査機関として引き続き高い精度を維持するよう努めている。

タンデムマス法による、アミノ酸代謝異常・有機酸代謝異常・脂肪酸代謝異常検査が開始されてから5年が経過した。対象疾患が19項目に拡大したスクリーニングは県内の病医院にも周知され、順調に推移しているが、出生数の減少により検査数は毎年減少傾向にある。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|-----------|--------|--------|-------|
| 先天性代謝異常検査 | 17,095 | 17,933 | 95.3 |

(2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。県内各市の教育委員会や医師会との連携を密に検査を実施しており、尿検査は前年度比100.1%を維持している。また、児童生徒の貧血検査は法定ではないため、受診者数が減る傾向にある。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|--------------|---------|---------|-------|
| 寄生虫検査 | 114 | 108 | |
| 尿検査(一次・二次) | 156,098 | 154,434 | 101.1 |
| (うち、腎臓病精密検査) | 568 | 564 | |
| (うち、糖尿病精密検査) | 52 | 36 | |
| 貧血検査 | 10,020 | 10,991 | 91.2 |

(3) 感染症検査

感染症検査のうち、実施数が最も多い腸内細菌検査について、29年度は、41,589件、前年度比99.6%とほぼ昨年並みを維持した。一方、ノロウイルス・QFT検査は流行に左右される検査である。今年、新潟市内で結核感染があり、保健所からのQFT検査依頼が増加した。肝炎等の血液抗体検査などの専門性の高い感染症検査は医療系大学生の実習前検査等で実施しているが、今年は医療系学部が増設されたため、121.4%の実施であった。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|----------|--------|--------|-------|
| 腸内細菌検査 | 41,589 | 41,766 | 99.6 |
| 食品検査 | 878 | 870 | 100.9 |
| ノロウイルス検査 | 105 | 112 | 93.8 |
| QFT検査 | 1,943 | 1,384 | 140.4 |
| HPV検査 | 144 | 200 | 72.0 |
| 血液検査(抗体) | 2,883 | 2,375 | 121.4 |

(4) その他の検査

新潟市医師会メジカルセンターからの血液検査を受託しており、血液受託数は952件であった。また、県内の病医院などから、組織検査及び子宮がん・喀痰などの病理検査を受託しており、4,989件の実施であった。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|--------|-------|-------|-------|
| 血液受託検査 | 952 | 1,003 | 94.9 |
| 病理受託検査 | 4,989 | 5,326 | 93.7 |

第2 健(検)診事業

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、4~6月までの間に小・中・高校生対象の心臓(心電図)検診、高校1年生対象の結核(胸部レントゲン)検診及び大学や専門学校の学生対象の健康診断を行っている。心電図検査については、心電図12誘導への移行が受託市町村において全て整い、新しい心電計の導入により、データ保存が

可能となった。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|--------------|--------|--------|-------|
| 結核検診 | 27,907 | 26,840 | 100.4 |
| 心臓検診 | 37,677 | 36,878 | 102.2 |
| 学生健診(大・専門学生) | 4,393 | 5,334 | 82.4 |

(2) 地域健診

県内各市町村が高齢者医療確保法や健康増進法などに基づいて実施している特定健康診査及び各種がん検診について、当財団は、特定健診は中越・県央地域を中心に、がん検診は上越地域を除く県内全域の事業を担当している。長岡市、三条市、見附市などを中心とする特定健診は、前年度比96.8%の実施であった。総合型健診(ミニドック)の導入など健診のあり方が多様化しているが、必ずしも受診者増には繋がっていない。引続き、市町村担当者との密な連携が必要である。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% | |
|--------|---------|---------|---------|-------|
| 特定健診 | 34,486 | 35,614 | 96.8 | |
| 結核検診 | 107,882 | 107,115 | 100.7 | |
| 地域がん検診 | 肺がん検診 | 143,486 | 145,871 | 98.4 |
| | 喀痰細胞診 | 2,759 | 2,878 | 95.9 |
| | 胃がん検診 | 16,709 | 16,688 | 100.1 |
| | 大腸がん検診 | 38,457 | 37,739 | 101.9 |
| | 乳がん検診 | 23,795 | 24,781 | 96.0 |
| | 子宮がん検診 | 14,203 | 15,107 | 94.0 |
| | 前立腺がん検診 | 4,379 | 4,621 | 94.8 |
| 骨検診 | 1,073 | 947 | 113.3 | |

(3) 職域健診

労働安全衛生法に基づき事業所等が実施する定期健康診断は、昨年開設した大型健診プラザの影響で、受託契約の事業所数が減っており、民間事業所の定期健康診断は約 2,300 件の減少であった。一方、新潟市教育委員会教職員健診を受託したため、施設における健康診断数は 14,437 件であり、106.7%と増加した。

| | | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|---------|---------|--------|--------|-------|
| 定期健診 | 出張 | 20,294 | 20,589 | 98.6 |
| | 施設 | 14,437 | 13,530 | 106.7 |
| 特殊健診 | | 1,978 | 1,825 | 108.4 |
| 職域がん検診 | 胸部検診 | 40,919 | 41,981 | 97.5 |
| | 胃がん検診 | 15,076 | 14,515 | 103.9 |
| | 大腸がん検診 | 14,704 | 14,949 | 98.4 |
| | 乳がん検診 | 4,409 | 4,611 | 95.6 |
| | 視触診 | 748 | 2,378 | 31.5 |
| | 子宮がん検診 | 5,264 | 3,861 | 136.3 |
| | 前立腺がん検診 | 2,037 | 2,126 | 95.8 |
| 事業所 骨検診 | 323 | 334 | 96.7 | |

(4) 人間ドック検診

当財団が提供する人間ドックは、各種健康保険組合、公務員共済組合との受託契約に基づくもののほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）の生活習慣病予防健診や新潟市国保の特定健康診査の検査項目に上乘せをして実施する形態など、受診者のニーズにできる限り対応するようにしている。消化器専門医の不足などのため、受診者数がやや減少する傾向が現われている。

| | 当年度 | 前年度 | 前年度比% |
|-------|-------|-------|-------|
| 人間ドック | 3,991 | 4,196 | 95.1 |

第3 健康づくり支援事業

(1) 特定保健指導

「高齢者医療確保法」に基づく特定健診・特定保健指導は、市町村からの委託により、住民国保を対象にした出張の特定保健指導がやや増加している。人間ドックの受診者に対しては、ドック受診当日にメタボリックシンドロームに該当するかどうかの検査結果に基づき、特定保健指導の初回面談を実施している。

| 特定保健指導の区分 | 当年度 人 | 前年度 人 |
|--------------------|-------|-------|
| 住民対象（市町村国保） | 142 | 134 |
| 職域対象（協会けんぽ、共済組合など） | 279 | 243 |
| 健康げんき倶楽部における特定保健指導 | 16 | 27 |

(2) ストレスチェック

労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック検査は2年目となり、新潟県病院局・新潟日報社などの大規模事業所をはじめ71社・12,169件のストレスチェック検査と医師面接指導43件を実施した。

| ストレスチェック | 当年度 人 | 前年度 人 |
|-----------|--------|--------|
| ストレス検査 | 12,169 | 12,490 |
| 医師面談指導 | 43 | 53 |
| メンタルヘルス相談 | 3 | 9 |

(3) 生活習慣病予防事業

成人病検診センターに特殊（糖尿病・禁煙）外来を設置し、次のような予防事業を実施した。

ア 糖尿病予防事業

健診の結果を踏まえ、糖尿病または境界型糖尿病の疑いのある受診者を対象に、食事や運動の生活習慣の改善に積極的に取り組むことを目的とし、山田幸男医師の指導に基づき、糖尿病精密検査、糖尿病教室、フォローアップ外来を実施した。定期的な検査に加え、糖尿病の知識や自己管理などの教育・指導を行った。

イ 喫煙予防事業

毎週火曜日に禁煙外来を開設し、土屋俊晶医師のもとで禁煙指導を実施した。

| 生活習慣病予防事業 | 当年度 人 | 前年度 人 |
|-----------|-------|-------|
| 糖尿病予防事業 | 209 | 242 |
| 喫煙予防事業 | 76 | 32 |

(4) 健康相談（個別）

健康診断の結果を踏まえ、保健師、産業看護師、管理栄養士の専門職が受診者の健康に関する悩みに個別に対応したり、生活習慣病予防・改善対策として専門的な医療機関への受診勧奨などの健康相談事業を行った。

| 健康相談の区分 | 当年度 人 | 前年度 人 |
|--|-------|-------|
| 人間ドックにおける健康相談 | 3,982 | 4,196 |
| 事業所などの定期健康診断における健康相談 新潟市特定健康診査における健康相談 労災2次健康診断における健康相談他 | 1,351 | 1,298 |
| メンタルヘルス相談（産業カウンセラー対応） | 132 | 137 |
| 健康げんき倶楽部における健康相談 | 133 | 137 |

(5) 健康教育（集団）

市町村、学校、事業所、地区組織などが開催する健康教育に関する講演会などに専門スタッフを講師として派遣するとともに、当財団の独自事業として、第13回市民健康講座を開催した。

ア 第13回市民健康講座の開催

① 日時 平成30年3月2日（金）13:00～16:00 新潟日報ホール

② テーマ がんの早期発見と最先端治療

③ 内容

講演1 「 臍がんを知ろう～難治癌の現状と診断・治療の進歩～」

塩路 和彦 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長

講演 2 「 子宮がん検診について 」

笹川 基 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科部長

「 座談会 」

塩路 和彦 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長

笹川 基 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科部長

土屋 俊晶 (公財) 新潟県保健衛生センター 理事長

横山 晶 (公財) 新潟県保健衛生センター 副理事長

④ 参加者 約 200 人

イ 「心とからだの健康づくりセミナー」の開催

メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施するとともに、今年度は新潟市中央区からの受託で「糖尿病予防セミナー」の連続講座 15 回をメディアシップと NEXT21 で実施した。

ウ 関係機関が主催する各種健康づくり活動への参加

① 第 20 回新潟市民健康福祉まつり 平成 29 年 10 月 15 日（日）

② 第 36 回おぢや健康福祉まつり 平成 29 年 10 月 8 日（日）

③ 福祉・介護健康フェア 2017 平成 29 年 11 月 19 日（日）

（6）予防接種

感染症予防の一環として、医療従事者や学生を対象に、B 型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘など感染症の抗体検査及び予防接種を実施した。

また、大規模事業所や学校などの集団で生活する人たち約 9,300 人を対象にインフルエンザ予防接種を実施した。

| 予防接種 | 当年度 人 | 前年度 人 |
|----------------|--------|---------|
| インフルエンザ | 9, 322 | 10, 120 |
| B 型肝炎・その他のワクチン | 2, 678 | 2, 292 |

（7）その他の支援活動

ア 外国籍住民検診

健康診断を受ける機会が少ない外国籍住民の「無料医療相談会」において、無料で胸部がん検診を行い、県内在住外国人の健康管理のサポートに努めている

る。平成29年6月4日（日）新潟市中央区 「クロスパルにいがた」 で実施した。

イ 身体障害者への受診対応

県下で唯一リフト装置付胸部検診車を配備し、福祉施設の入所者などに対する受け入れ体制を整え、受診機会を損ねることのないよう努めている。

第4 その他関連事業

(1) 関連機関への参加協力

ア 結核予防会及び予防医学事業中央会への加盟

それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部としての活動を推進してきた。

- ① 第68回結核予防全国大会参加 平成29年5月18日・19日 北海道
 - ② 第69回結核予防全国大会 平成30年 2月13日・14日 広島
 - ③ 予防医学事業全国大会参加 平成29年10月26日・27日 千葉
 - ④ 予防医学技術研究集会参加 平成30年 2月21日～23日 長崎
- 技術研究集会において、次の研究発表を行った

○「新潟県の新生児マスキングにおける採血の実態調査について」

検査課 内山 絢乃

○「生活習慣病予備軍への集団教育の取り組み」

健康支援課 吉崎 真子

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力

新潟県健康づくり財団が事務局を担当している協議会の会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力した。

(2) 専門委員会等の開催

健診検査業務の精度の向上を図ると共に事業を円滑に実施するため、新潟大学や医師会等と連携し専門委員会を下記のとおり開催した。

- ア 肺がん検診専門委員会(2ヵ月1回開催) 平成29年 7月～30年1月
- イ 母子関係事業懇談会 平成30年 1月29日
- ウ 胸部検診読影委員会 村上地区 平成29年 7月13日
新発田地区 平成29年11月25日
三条地区 平成30年 3月10日
- エ 胃がん検討委員会 三条市 平成29年 3月17日
- オ 新潟市読影医師研修会 平成29年 8月 5日

(3) 結核予防複十字シール募金運動

結核予防会本部が全国運動として展開している複十字シール募金を本年度も、保健所、新潟県食生活改善推進委員協議会等の協力を得て行った。

平成29年度募金額 2,801,525 円 (目標額 3,200,000 円)

(4) 他の健診機関との包括業務提携

一般社団法人 新潟県健康管理協会と、次のとおり「包括業務提携協定」を調印した。

ア 調印式 平成29年10月17日(火)

イ 主な提携・協力事業

- ① 健診施設、機器、検診車等の相互利用
- ② 医師・技師等の相互応援
- ③ 職員研修の共同実施など

3 施設設備の整備

平成29年度における主な設備投資は、次のとおりである。

(1) エックス線検診車

レントゲンデジタル化をより一層推進するため、胸部デジタル検診車(D-7号)を平成30年3月16日納車で新規配備した。今後は、三条市、見附市などの県央地区の胸部検診に稼働予定である。また、平成29～30年度の2カ年継続事業として、平成30年6月納車予定の、胸部レントゲン検診車(D-8号)の購入契約(33,400,000円)を行った。

ア 胸部レントゲン検診車 D-7号

平成29年10月25日 日立ヘルスケア新潟営業所 契約締結

平成30年 3月16日 納車

平成30年 3月17日 検収

4月28日 支払 38,664,000 円(税込)

イ 乳がん検診車(マンモリボン号)CR化 14,040,000 円

小計 52,704,000 円

(2) 車両

ア ホンダフリード(ホンダ) 業務課 2,130,996 円

イ 日産セレナ(日産) 県央メジカル 2,336,547 円

ウ マツダフレア(マツダ) 総務課 1,082,224 円

エ トヨタコースター(トヨタ) 健診第1課 5,903,957 円

オ トヨタコースター(トヨタ) 健診第1課 6,043,672 円

小計 17,497,396 円

(3) 心電計

ア 解析付心電計 FCP-8700 4台 中越メジカルセンター
8,640,000 円

イ 解析付心電計 FCP-8700 4台 健診第1課
8,100,000 円

小計 16,740,000 円

(4) パソコンネットワーク及びグループウェア 更新

ア 本部・分館・中越ネットワーク分離工事 2,896,560 円

| | | | |
|---|-------------------------------|------------|---|
| イ | ネットワーク分離後検疫用サーバー | 1,640,412 | 円 |
| ウ | グループウェアリプレイスサーバー | 2,547,720 | 円 |
| エ | グループウェアDeskNet's NEO ソフトウェア更新 | 2,571,480 | 円 |
| オ | ネットワーク分離に伴うクライアントPC 45台増設 | 6,652,800 | 円 |
| | 小計 | 16,308,972 | 円 |

(5) その他固定資産購入一覧

【建物附属設備】

| | | | |
|---|---------------------------|-----------|---|
| ア | 旧館給排水設備設置工事 | 1,749,600 | 円 |
| イ | 本館4階洗濯室給排水設備工事 | 239,674 | 円 |
| ウ | 感染性廃棄物処理用倉庫設置工事 成人病検診センター | 280,800 | 円 |
| エ | 本館LED照明設置工事 | 1,036,800 | 円 |
| オ | 本館1階女性ドライバースペース内装工事 | 648,000 | 円 |
| | 小計 | 3,954,874 | 円 |

【器具・備品】

| | | | |
|---|---------------------------|------------|---|
| ア | デジタルカラー複合機 富士ゼロックス 本館3階 | 1,031,400 | 円 |
| イ | デジタル画像用コンソール | 1,944,000 | 円 |
| ウ | 本館・中越電話主装置 | 1,618,851 | 円 |
| エ | 車載用受付端末 乳がん検診車用 | 291,600 | 円 |
| オ | 内視鏡ビデオシステム1式 | 8,100,000 | 円 |
| カ | デジタル身長体重計 中越メジカル | 227,664 | 円 |
| キ | 業務用冷蔵庫 検査課 | 426,600 | 円 |
| ク | 超低温フリーザー 検査課 | 681,480 | 円 |
| ケ | FAX 情報管理課 2台 | 417,960 | 円 |
| コ | インキュベーター 中越メジカル 3台 | 2,361,960 | 円 |
| サ | システム顕微鏡 中越メジカル 3台 | 1,121,040 | 円 |
| シ | コピー機 げんき倶楽部 | 507,600 | 円 |
| ス | AED 分館・中越・県央 3台 | 712,800 | 円 |
| セ | コンパクト視力計 健診第1課 | 201,960 | 円 |
| ソ | 胃がん検診車(財団号)光学・写真制作機器カメラ交換 | 378,000 | 円 |
| | 小計 | 20,022,915 | 円 |

総 額 127,228,157 円

(6) 長期リースによる臨床検査機器入替

検査課の機器更新に伴い、臨床検査機器及び検査試薬の使用に関する契約を栄研化学株式会社と締結した。

- ア 機器等の構成
- | | | |
|--------------|--------------------|----|
| 生化学自動分析装置 | 日立 LABOSPECT-008 α | |
| 〃 | 日立 LABOSPECT-006 | |
| 多項目血球計数装置 | シスメックス XN-2000 | 2台 |
| 自動HbA1c測定装置 | 東ソーHL C723 | 2台 |
| 検査コンピュータシステム | 日本電子 CLALIS-60L | |
- イ 契約期間 平成30年1月1日～平成34年12月31日（5年間・予定）
契約期間満了後、所有権は甲に無償移転する。
- ウ 賃借料（概算）
- | | |
|----|----------------------|
| 総額 | 94,200,000円（保守含む。税別） |
| 月額 | 1,570,000円（税別） |

4 法人運営の状況

(1) 主な会議の開催状況

定款の規定に基づき、理事会及び評議員会を次のとおり開催し必要事項を審議した。

ア 理事会

- ① 第11回定時理事会 平成29年 5月31日（水）本館4階会議室
- ② 第11回臨時理事会 平成29年 9月27日（水）本館4階会議室
- ③ 第12回定時理事会 平成30年 3月19日（月）本館4階会議室

イ 評議員会

- ① 第6回定時評議員会 平成29年 6月20日（火）本館4階会議室

(2) 監査報告

平成30年5月23日（水）に行われた監事監査の結果、平成29年度の事業報告及び決算について、適正の報告があった。